

2020年8月25日

## 学校関係者評価報告書

学校法人 葛谷学園  
中和医療専門学校

自己点検・自己評価実施委員が作成した「2019年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告します。

### 1. 学校関係者評価委員会

#### 学外委員（五十音順）

伊藤 秀雄 氏（クローバー治療院グループ代表 本校卒業生）  
小川 稔 氏（小川鍼灸院院長 本校卒業生）  
佐藤 由美子 氏（保護者）  
深井 伸江 氏（保護者）  
藤川 和秀 氏（愛知県柔道整復師会副会長）  
村田 守宏 氏（むらた鍼灸院院長 本校卒業生）

#### 学内委員

楠本 高紀（中和医療専門学校校長）  
古橋 一人（中和医療専門学校副校長）  
清水 洋二（あはき関係科学科長・校務主任兼任）  
葛谷 壽彦（柔道整復科学科長）  
清川 朝栄（あはき関係科臨床実習施設長）  
戸崎 素成（柔道整復科臨床実習施設長）  
二村 浩之（あはき関係科校務主任補佐）  
太田 康晴（柔道整復科校務主任）  
森 輝久（中和医療専門学校事務局長）  
吉野 真二（中和医療専門学校事務局職員）  
平野 良彦（中和医療専門学校事務局職員）

### 2. 学校関係者評価委員会会議

第1回 2020年6月28日 14:00から16:10

第2回 2020年7月26日 14:00から16:15

場所：各回とも3号館会議室

3. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見等

分類	コメント（意見・評価等）
<p>基準 1</p>	<p>(1)本校の特徴「中庸の精神」は分かり易い。スローガンとして何か形にできないか？  <b>【回答】</b>            ガレリアや教室など学生の目に触れるところに掲げる等の方策があるように思う。そういう掲示物を気につけない人もいたので教員の働き掛けも併せてどのようなものが必要になるか考えていきたい。</p> <p>(2) 1－1「あいさつ運動」の現状は？  <b>【回答】</b>            オリエンテーションなどで意識づけを続けている。体感ではあるが以前よりあいさつをする学生が増えてきたかなという状況。</p> <p>(3) 今まで以上に、業界や地域社会で活躍できる卒業生を育成し輩出していただきたいです。  <b>【回答】</b>            今後とも様々な活動をしていきたいと考えている。</p> <p>(4) 伝統校中和の「中庸の精神」「人との関わりを大切に」である常に変わらない、調和を重んじる治療家を育ててもらいたい。コロナで社会のニーズは変化を求められていて、極力身体に接しない治療法などの工夫も必要。将来構想では、この先の医療制度の崩壊や介護業界の破綻にも適応する人材教育を求める。  <b>【回答】</b>            国から求められている「3密回避」を主眼に据え対応している。患者との接触が必要な業種なので、触らないということも困難である。学校協会などの関連団体へも様々な意見が出ているところ。新型コロナウイルスの蔓延による状況によって段階的に策をとっていく予定。現在のところ、附属の治療院・接骨院ではゴム手袋を着用し、直接接しないよう対策した。            医療制度や業界の変化については、カリキュラムが新しくなり保険の仕組みや職業倫理などを扱う授業が増えたので、そのあたりで対応していくことになっている。</p>
<p>基準 2</p>	<p>(1) 2－2・2－3 ウ. 教職員と役員との考えが必ず一致するものではないので、学校運営懇談会等にて話し合い、とあるが、開示できるものがあるのであれば何が一致しないのか示してほしい。  <b>【回答】</b>            学校をよくしていきたいという思いは同じであるが、経営側と教員では視点が異なる場合がある。いかに良い授業をするために備品が必要であっても、予算の観点から全てを購入することはできないので、財政の考慮の点で意見をすり合わせる必要がある。</p>

	<p>(2)・(3) 2-7 新型コロナウイルス対策：オンライン授業の現状と今後の対策について教えて頂きたい。</p> <p>PCは、生徒各自の状況把握はできているのか？</p> <p>この先のコロナ第2波を想定して、リモート授業の可能性にも対応の準備。運営方針での教員と役員の不一致は、目的や理念の浸透に重きをおいて解決の優先順位を上げるべき。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>学生全体に環境調査アンケートを取り、学生の利用環境状況把握はできている。</p> <p>オンライン授業については時差登校や分散登校で密な教室を作らないようにする対策をとる中で、学生の環境調査アンケートの結果インターネット環境が全員対応可能であった2年生に対して2週間実施した。今後第2波・第3波が来たときは非常事態宣言など社会の情勢を注視しつつ今回の仕組みを元に展開する。</p> <p>(4) オンラインのみでは実際の授業に比べ意思疎通に欠点があるので、後のフォローをしっかりとっていただきたい。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>学生・教員がコミュニケーションをとりながら、フォローをしていきたい。今回のように緊急事態宣言や休校要請があった場合は登校させるわけにもいかないなので、例えば後日オンデマンドでも講義を受けることができるよう県や国の方策の確認を取りつつ学生にとって最善となるよう進めていきたい。</p> <p>(5) 2-7 今年度の非常勤講師用のパソコンは現状は何台ですか？ 又、学生が利用できるパソコンは何台ですか？</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>職員室にデスクトップPCが4台、ノートPCが7台、学生向けには研究室に9台となっている。</p> <p>(6) 教職員の採用計画は、中期・長期で具体的に。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>規模の小さい学校なので年齢による退職以外の人事の増減は少ない。年齢による職員の動向については把握している。</p>
<p>基準 3 本科</p>	<p>(1) 3-10-2 学生の発表の場の拡大：全日本鍼灸学会での学生ポスター発表など、今後の検討課題としていただければと思う。</p> <p><b>【回答】</b> 研究の授業で論文が完成するのが9月、学会等は春に行われることが多く、学生は9月から国試受験モードに入るという事もあり時期的に難しい。</p> <p>(2) 3-11-2 「グループ学習（学力別少人数制）」の現状と今後について教えて頂きたい。学力別少人数によるグループ学習を検討及び実施を！</p> <p><b>【回答】</b> 補講などで試しているが、本校は学生の年齢や背景が様々で単に学力別で少</p>

専科	<p>・人数にするだけでは効果が見えてこないため、個別の対応も含め引き続き検討している。</p> <p>(3) 3-9-4 : 学生による授業アンケートを実施したのは良かったと思います。 アンケートは年2回ぐらいしたのでしょうか？ 【回答】年に2回、前期と後期に実技と学科の授業について行った。</p> <p>(4) 時流・環境の進化・変化は激しく、学校側が情報を把握し対応する、業界をリードするポジションにあるのでは。過去がこうだったでなく、変化を求められている。最新の業界を認識しつつ、変化に対応できる治療者を育ててもらいたい。 【回答】学生の興味に応えられるよう新しいことにチャレンジする組織を目指していきます。</p>
基準 3 柔軟 整科	<p>(1) 教育活動において充実した内容で実施されておられるが、本年度の合格率の低さは何が原因か検討する必要がある。具体策を提示してほしい。 【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験の結果を分析したところ、合格した学生としなかった学生で特定の科目の正答率が大きく差があったことが分った。毎日補講を行うなどこの科目をフォローしていく。</li> <li>・勉強をするための集中力が保てない学生がみられるため、短時間の補講を行うなどし、まずは短時間集中ができるよう促していく</li> <li>・授業内容について、基礎医学の習得か国試特化の内容か、様々な意見が出ているが、基礎医学の習得は将来職に就いたときに大きく役立つであろうことから大きく偏らないように進めていく。ただし成績不良者への学習支援は必要になるので昨年引き続き行っていく。</li> <li>・今まで国試対策資料が科目ごとや範囲ごとにばらばらに学生にわたっていたが、うまく活用できない学生もいたため、学校としてまとめて編集し学習するポイントを出していく。</li> </ul> <p>(2) (1) 学生発表の場：学術大会での発表等はされないのか？ (2) 附属接骨院患者増への対策は？ (3) 「グループ学習」は検討されていないのか？ 【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 現在考えていない</li> <li>(2) 一昨年に比べ徐々に増えている。今年度より受付時間を1時間延長した。</li> <li>(3) 授業では現在取り入れていない。成績不良者の補講で少人数のグループ学習を行っている。</li> </ul> <p>(3) 3-9-2 : 超音波診断装置を積極的に導入して授業を実施しているとのことですが、実施計画はどのような内容でしょうか？ 【回答】外部講師による超音波セミナーを年2回実施。新カリキュラムには医療画像</p>

	<p>の理解を深める科目があるのでそこで活用する。3年生の前期に開講。</p>
基準	<p>(1)資格取得後の就職については、ほぼ100%であると思うが、これまでも発言してきた様に、それぞれの分野で将来を担う若い子達であるため、目先（給与等）で決定させない様にしてほしい。</p> <p>【回答】ご指摘の通りだと思います。様々な情報に気をつけて指導していきたい。</p>
4	<p>(2) 4-1 4-1 : 令和元年の国試合格率の検討、課題について教えて頂きたい。</p> <p>【回答】あん摩マッサージ指圧師については100%を達成できたが、はり師きゅう師は合格率が下がってしまった。今年度より国試が大きく様変わりし主に東洋系の問題数が増える。国試対策授業が倍の時間数になったので東洋系の科目をフォローし、成績不良者には少人数で補講などの対応をとっていきたい。</p> <p>柔整科については基準3でお答えした内容と同様。</p> <p>(3) 4-1 4-1 : 3年生の成績不良者とは、3年になって成績不良者になってしまったのでしょうか？ 国試合格100%の目標を達成して、入学者を増やして下さい。</p> <p>【回答】多くは1、2年時に成績不良であったものが進級した3年生である。</p> <p>(4) 4-1 5-1 : 卒業生定員の10倍を上回る求人件数があるのは、素晴らしいですね！</p> <p>【回答】全国から募集をいただいているが、地元の学生が多いので人によってはやりたい事や待遇面でフィットする事業所を探すのが難しいという事もある。希望を聞き取りながらアシストしていきたい。</p> <p>(5) 実質の就職率を知りたい。業界を離れてしまう卒業生の割合（10年程以内）でどれ程？</p> <p>【回答】就職率は治療院・接骨院（54.9%）、開業・自営（13.7%）、進学（6.8%）、在宅マッサージ業（6.8%）、病院・整形外科（6.8%）、その他（11%）となっている。10年以内に業界を離れてしまう卒業生については調査が難しく満足のいく回答が寄せられず、把握できていない。業界全体としては学校協会などが調査をし、まとめたものがあるので参考になるのではないかと。</p>
基準	<p>(1)最近のDO（Drop Out = 退学）の人数と傾向分析はどの様にしているのか？ 提示してほしい。</p> <p>【回答】</p>
5	<p>過去5年の人数としては平成27年度が本科専科4名柔整科10名、平成28年度が本科専科9名柔整科12名、平成29年度が本科専科11名柔整科11名、平成30年度が本科専科10名柔整科7名、平成31年度が本科専科1名柔整科3名、である。</p> <p>退学理由としては、「勉強についていけない」「目標を見失った」「家庭都合（介護など）」「経済的都合」といった傾向がみられる。</p> <p>本科専科の学生では、高校卒業直後に入学した学生は「本来は別の分野に進学したかったが親の意向で入学したが、やはりあわなかった」という理由で早期に退学をするケースがあった。ある程度年齢の高い学生では「急遽、親の介護が必要となり通学す</p>

る時間が取れなくなった」という理由が近年増えてきている印象。

柔整科では、3年生になり学力不足やモチベーションの低下が理由に上がるケースがあった。1年生時に退学した学生は家族の健康状態の悪化があり、学校に通う余裕がなくなってしまったというケースであった。

(2) 中途退学者は、入学時に既に予想が出来ていたのでは？個別の対策でフォロー出来ているのか。

【回答】

入学試験の面接では具体的に把握することは困難なので入学後一か月以内に個人面談をして状況を把握している。また授業への出席状況で傾向を予測している。

授業を進めていくと、勉強ができる人苦手な人は見えてくる。面談で意思疎通を図りながら成績の伸びにくい科目をフォローしたり、序盤に躓きやすい医療用語の解説などを行っている。

(3) 新型コロナに関して、学生支援は何か考えているか？血液検査や PCR 検査、肝炎の対策などの導入について。

【回答】

授業料等の減免は行っていないが、遠隔授業や自宅学習に備えるための支援金を学生に給付した。PCR 検査は生徒全員分となると検査の受け入れ施設の確保や予算の面で対応が難しい。ただ、今後インフルエンザとの同時流行も懸念されるので、インフルエンザについては近隣に開業する校医と予防接種について相談をしているところである。肝炎については一度で抗体ができるかという問題もある。いずれにせよ数や予算の問題がありすぐに対応が難しいところではあるが、医療従事者として自覚を持ち、対応できるように教員、学生に啓蒙活動などの基本的部分からやっていく。

(4) 「新年交歓会」への卒業生の参加が少ない。参加促進活動の現状と対策について教えて欲しい。

【回答】

同窓会の役員会にて度々議論が上がっている。講演の内容や場所など意見は出ている。一つ一つやっつけていこうということで8月の総会で呼びかけをする。

(1) コロナ対策について、具体的な取り組みは何かあるか？附属治療所では、問診あるのか？

基準

6月の授業再開後は、オンライン授業、分散登校、時差登校を実施した。現在も登校6時間を電車乗車率のピークからずらすなどの対応中である。対面授業を行うにしても基本的には「密を避ける」ということで、人数の多いクラスは大きな教室で授業を行うなどの対応をしている。実技については接触が避けられない部分もあるので、決められたペアで授業を進める等、不特定多数との接触は避けるようにした。また全学科共通の衛生マニュアルを作成し、それを元に手洗い・消毒を徹底し、検温の結果を担当者がチェックしている。

附属治療所での臨床実習では、開始前に学生の体温測定・体調確認を実施している。患者さんに対しては職員が体調確認、発熱の有無を確認している。場合によっては予約を取り消す対応となる。スリッパなどの消毒や窓を開放し空気の循環に努めるほか、待合室のイスや治療用ベッドの数を減らして3密の回避をしている。患者さんの案内や問診などでは対面にならないような位置取りで行うよう従来の方法とは対応を変更した。治療に伴う接触については、手ぬぐいやタオル、手袋等を用い、直接触れないようにした。

(2) 附属治療所での施術患者の発表、カンファレンス等の場はあるか？

【回答】

時間的都合、感染防止の観点から全体でのカンファレンスは行っていない。個別に症例レポートを提出させている。その内容についてや、質問事項については個別にディスカッションをしている。自ら質問にこられない学生もいるので、こちらからの声かけでフォローしている。

(3) 部外者侵入 平成30年6月以降の発生はないか？

【回答】

発生していない。

(3) 図書は1日に2回、開放して貸出をしています。利用状況がわかれば教えて下さい。

【回答】

昼休み、放課後の両時間帯でそれぞれ10名程度が利用している。貸し出しはそれぞれ5名程度が平均的な利用状況。

基準  
6  
柔道  
柔  
整  
科

(1) コロナ対策について。

【回答】

本科・専科と共通の衛生マニュアルを運用。基本的に本科・専科と共通の対策である。

柔道については接触が多いので、健康記録表に毎日の健康状態を記入し管理し、感染  
疑いの者には授業に参加させないという対応をしている。

(2) 設備を宝の持ち腐れにならない様に、生徒の学習に取り組む姿勢（心・技・体）を  
改善しなくてはならないと思います。

【回答】

現在特に1年生に授業の受け方の指導を指導している。態度の改善を図る狙いと、教  
員の指示をうまく行動に移せない学生もいるので今後の授業の理解度を向上させる狙い。  
授業内容も問われてくる問題だと認識している。授業アンケートを取っているので授  
業内容についても考察し教員力の充実を目指していきたい。

(3) 校外臨床実習施設を新たに9施設登録したとのことですが、現在の合計は何施設に  
なりましたか？

	<p><b>【回答】</b> 愛知県に 4 施設、岐阜県に 4 施設、三重県に 1 施設と本校の附属接骨院の計 10 施設となった。</p>
基準 7	<p>(1) 学生募集は、本校運営に際し重要なことではあると思いますが、D O や合格できない生徒をかかえるより、始めは苦しいかもわかりませんが、入学試験（学力試験）をしっかりとしたものにしたらどうでしょうか。</p> <p><b>【回答】</b> ご意見ありがとうございます。入試検討委員会に伝えます。</p> <p>(2) オープンキャンパス、入試について。設備、時間等、新型コロナ対策はとられるのか？</p> <p><b>【回答】</b> 参加者に対して来場時に手指消毒や検温の徹底をしている。開催時間の短縮や非接触での体験授業など、感染防止の観点から修正したプログラムを実施している。また個別相談では飛沫防止シートやブースの消毒などの対応をした。</p> <p>(3) オープンキャンパスの回数を増やし、夜間の時間帯でも開催し、環境を整えた結果はいかがでしたか？</p> <p><b>【回答】</b> オープンキャンパス全体で参加者は 50 名増加し、そのうち 50% が出願した。受験者の中での参加率は 70% 程度となる。学校のことをよく知り、受験していただけるよう力を入れていきたい。</p> <p>(4) 学校訪問はやっているのか？</p> <p><b>【回答】</b> 今年度はコロナの影響で控えているが、例年は近隣地域を中心に 60~70 校訪問している。</p> <p>(5) 近隣とかこだわらず、数をこなした方が良いと思います。</p> <p><b>【回答】</b> アドバイスありがとうございます。</p>
基準 8	<p>(1) 健全運営を望みます。</p> <p><b>【回答】</b> 引き続き努力していきます。</p> <p>(2) 新入生の定員割れ対策：適切な広報活動の現状は？</p> <p><b>【回答】</b> 紙媒体の影響力が落ちてきているのでインターネット媒体の活用も進めている。予算規模の制約があるので利用するサービス・媒体は限られてしまうが、必要なものを精査し利用している。</p>



	<p>(3) 動画の配信に興味持つのでは。「中和」をとというよりは、鍼灸治療を広く知ってもらいたい。</p> <p>【回答】 今年度より Twitter の公式アカウントを開設し、そちらに動画をあげている。</p>
基準 9	<p>(1) 学校評価のホームページ上での公表はとてもよい。更なる内容の充実を期待する。</p> <p>【回答】 ご意見ありがとうございます。できることからやっていきたいと思えます。</p>
基準 10	<p>(1) 柔整科生徒の学外でのボランティア活動等は？</p> <p>【回答】 美濃加茂パークマラソンに 6 名参加した。</p> <p>(2) 各種ボランティアの学生参加数について教えて頂きたい。</p> <p>【回答】 全 11 回で例年各回 3 名~15 名程度参加し、延べ参加者数は 70 名程度となる。昨年度末からコロナの影響でイベントがなくなり今年度は実施できていない。</p> <p>(3) 施設利用希望者の増加とありますが、年間にどれくらいの希望者さんがありますか？</p> <p>【回答】 昨年度の実績としては 2 団体 4 回の利用があった。希望者からの依頼はあるのだが、本校のオープンキャンパスや入試、イベントと重なることが多いので施設を貸し出せないケースがある。</p>
その他	<p>(1) 今後は、学校としてオンライン授業やソーシャルディスタンスの実施、工夫が必要になってくると思われる。</p> <p>【回答】 国の新しい生活様式やガイドラインに準拠して対応いたします。</p> <p>(2) 授業中ではなく、授業終了後に質問時間を 30 分ぐらい作ってほしいと娘が言っていました。</p> <p>【回答】 春以降、コロナ対策でなるべく学校にとどまらないようにしていたので確かに質問時間は確保しがたかった。状況に応じて通常の時間に戻していくので、質問の対応も行っていく。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症で 3 ヶ月間の休業要請後に対して、解除になった後 3 ヶ月間の授業のブランクに対して学生は不安を抱いております。特に国家試験を控えた 3 年生は不安でたまりません。不安だらけの学生に対して、学生に不安を抱かせない様な教育方針を立て、学生の不安を取り除く教育をお願いしたい。</p> <p>【回答】</p>

休業期間中に中止した模擬試験などは現在ようやく行えるようになった。今年度変わる国試の概要などは既に学生に説明済みで、今後模試の結果をもとに個別面談で科目別の分析や苦手科目のフォローなど進めていく。不安の声は教員にも届いているので、全体向けの対応とともに個別の対応をしっかりとしていきたい。

(4) 新入生の定員割れ、退学による充足率の低下について。昨今どこの学校でも新入生の定員割れが目立っているが、学園に於いて新入生の定員割れに対してどのような対策を採っていますか？中和医療専門学校では、新入生の定員割れ、退学による充足率の低下による定員不足による財務不足に対してどのような対策を採っていますか。

**【回答】**

新入生の定員割れについては、HP のアクセス数や資料請求、オープンキャンパスの参加者は増えてきているが、受験者数はそれほど増えていないので、まずはオープンキャンパスに参加してもらい、出願につながるようにしていきたい。オープンキャンパス参加者の受験料や入学金の軽減特典を付ける等、オープンキャンパスから受験につながる働き掛けをしているところである。財務状況については、学費を見直し調整を図ったところである。